

新型コロナウイルス感染症に対応した授業の工夫と留意点（改訂版）

1 各教科主任より

R2・8・18改訂

教科	懸念される活動	考えられる活動の工夫と留意点
国語	別紙参照 ・一斉音読	→マスク着用・ (小声で) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・現状のやり方が基本。 ・マスク着用，隣同士のペアの話合い，伝え合いは可能とする。 ・マスクの着用を大原則とし，ある程度の声を出しての話合い・伝え合いは可能とする。 ・机を向かい合わせての話合い活動は，まだ見合わせたほうがよい。 </div>
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで別れて調査する活動（例示：中学年の水道調べ、消防施設調べ等）が密状態になるためできない。 ・教室内でのグループでの話し合い・情報交換・教え合い活動が、密状態になるのてできない。 ・コンピュータ室や図書室での調べ学習時に密状態になりがち、話し掛けがちになってしまう。 ・通常授業の中での忘れ物：従来は隣の児童の物を見せてもらうことができたがそれができなくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> →①教師がすべて調べ、データを児童に示す。 ②個人で調査：場所を細分化して行い、終了後クラスで集約。 →①会場が確保できるなら、分散して個人の間隔を開けさせて実施。 ②教師が個々の考えや情報を一括集約し、それを個人に配布・提示し、考えさせる。教え合いができない代わりに、 ア 教師による机間指導を密に行う。 イ アドバイス・ポイントカードの配布 ウ 黒板やテレビ画面やプリントで、アドバイス点や留意点やヘルプ情報を細かく指示。 →①・図書室、コンピュータ室使用をクラス半数ずつにし、座席間隔をあけて座らせる。時間で場所の交代を指示する。 <ul style="list-style-type: none"> ・話しかけをしない、友達には聞かない等の約束事を事前に徹底指導して実施。 ・教師が細かく会場毎の机間指導を行う。 →①教師の分を貸す。または、その日に指導する予定の分の教科書等のコピーを事前準備しておき渡す。

	<ul style="list-style-type: none"> ・現状のやり方が基本。 ・マスク着用で、隣同士のペアの話合い、伝え合いは可能とする。 ・マスクの着用を大原則とし、ある程度の声を出しての話合い・伝え合いは可能とする。 ・机を向かい合わせての話合い活動や発表物などのグループ作成は、まだ見合わせたほうがよい。 	
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ学習ができない。学び合いができなくなり、低位の児童への支援が少なくなる。 ・教材・教具の共用。ペアやグループで共有して使用。使いまわしの教具。 ・教室ホワイトボード・マーカーの共用。 ・できる限り、少人数指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> →各自での学習が主体。支援としてデジタル教科書の活用、ヒントカードの配布、全体指導時間を増やす。 →教材室の教具は使用を控える。もしくは使用前後の手指の洗浄を徹底する。一つ一つ児童による消毒は難しいのでは。 →A3 用紙に個人のネームペンで記入して使う。
理科	<p>(理科室関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・机と椅子の共用・席が近い・対面 ・実験器具の使いまわし・班で1セットの器具が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> →当面の間、使用しない。(削除) →1人1個あるものならば大丈夫。実験は教師が代表して行う。視聴覚教材を使用する。

- ・現状のやり方が基本。
- ・理科室の使用は可能。
- ・大原則として「無駄なおしゃべりはしない」「大声は出さない」「マスクを着用する」は必ず守らせるようにする。
- ・「新しい学習様式」の意識も持たせる必要がある。
- ・基本、前を向いて座っている。
- ・ノートを書く時など対面になるが、おしゃべりしない。
- ・実験は基本、教師が演示実験。
- ・実験器具が、1人1個あるものは可能。(何があるかわからないが・・・)
- ・教室でできるものは、教室でが優先となるだろう。
- ・マスクの着用・(ゴーグルの着用)・入退室時の手洗い、うがい・無駄なおしゃべり無しの徹底で、対面での実験は可能。
- ・対面が心配な場合、隣同士の距離はかなり近いが、L字型に座ってみることも考えられる。
- ・ゴーグルを使用の時は、使用後の消毒が必要。

(教室関係)

- ・実験セット

→正面・1人で。実験セットが1人1個あるならやりやすい。(電気・磁石など)

- ・グループ学習(観察。実験)

→今はできない。

(外関係)

- ・観察
- ・畑

→できる

→畑は密集しなければ大丈夫
植木鉢など、1人1個のものが用意できれば大丈夫

(その他)

→活動内容の縮小

視聴覚教材の活用

理科新聞などでまとめるなど

◎実際は、その活動ごとに細かく判断していくしかない。

生活	畑 探検 おもちゃ作り・まつり 各単元の発表活動	→なるべく距離を取りつつ、植木鉢など、一人一個のものが用意できれば大丈夫 →グループでの行動は難しい 担任先導などで体験の場を設ける クラスを半分ずつにして探検する。 →一人一個の制作なら大丈夫 当面はグループ活動は要配慮・工夫 →基本的に一人での発表が望ましい ◎その単元・活動ごとに配慮や工夫の詳細を考えていくしかない
<ul style="list-style-type: none"> ・現状のやり方が基本。 ・マスク着用で、隣同士のペアの話合い、伝え合いは可能とする。 ・マスクの着用を大原則とし、ある程度の声を出しての話合い・伝え合いは可能とする。 ・「新しい学習様式」の意識も持たせる必要がある。 ・机を向かい合わせての話合いや活動は、まだ見合わせたほうがよい。 ・1・2年生を集合させての活動はまだ見合わせたほうがよい。 ・体育館で、1・2年生のきょうだい学級で、おまつりの縮小版を行うのは可能。 		
音楽	○歌唱 マスクを付けたまま ○器楽 リコーダーや鍵盤ハーモニカ飛沫の心配 打楽器（鉄琴・太鼓・トライアングル等）の共有	→曲の歌詞やメロディーをなんとなく覚えることを目的として、聴かせながらマスクの下で歌わせる。（特に共通教材） 朝の会の今月の歌も同様で、曲を聴かせる。 「今日は○番だけ、歌ってみよう」など、短くして、マスク着用の下、小声で歌唱する。 →マウスピースを付けずに、指使いの練習をする。 ・音を出す練習は、時間を決めて、指導する。（5分間） →できるだけ使わない。使う場合は少人数にして、その後消毒綿等で拭く。 使用した後、必ず手洗いをする。

	<p>○リズム練習 ○鑑賞 ○楽典（記譜）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>※移動してくる時に、自分の<u>探検バッグ</u>や<u>音楽ファイル</u>など筆記時に下敷きになるものを持たせる。</p> </div>	<p>→主に手拍子でリズムを教える。 →鑑賞教材以外の曲も聴かせる。 →音楽用語を教えて、書かせる。</p>
<p>図工</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○吹奏楽クラブの活動 → 練習場所を工夫して活動を開始している。 ○音楽室 → 使用している。 ○リコーダー・鍵盤ハーモニカ・歌唱 → 体育館・外で行っている学校が多くみられる。 体育館は本校は空きがないので難しい。 外での活動は可能。 ○校内音楽会の練習は外でも行う予定です。 ○リコーダー・鍵盤ハーモニカの音出しは可能とする。ただし、時間は5分程度とする。 ○楽器の使用も可能とする。ただし使った後は、必ず手洗いをする。 	<p>→ローラーの本数や版画インクの入った容器の数を増やして活動する。または、ローラーは、使い終わったら個人で消毒してもどす。</p> <p>→使い終わったら、個人で消毒をして片づける。または、回収箱にもどす。</p> <p>→筆の本数や容器の数を増やして活動する。または、筆を個人持ちにする。</p> <p>→シャボン液カップを個人持ちにする。 (準備・扱いが難しい。)</p> <p>※今年度は、この単元は取り扱わない。</p> <p>→今年度に限っては、この技法を取り扱わない。</p>

	<p>○電動糸鋸を使っての製作活動（高学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電動糸鋸の共用 <p>○造形遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砂場遊び・色水作り ・材料を並べる。一緒に扱う 	<p>→使い終わったら、個人で手の触れた部分を消毒して片づける。順番待ちの時にソーシャルディスタンスを保つ。</p> <p>→木を切って出た木かすは、息で吹いて飛ばさないようにする。</p> <p>→今年度に限っては、活動の内容や子どもの動きを予測したときにソーシャルディスタンスを保てる活動を吟味して行う。</p> <p>※どの製作活動でも、終わったら手洗い・うがいをしっかりと行う。</p>
家庭科	<ul style="list-style-type: none"> ・ 凶工室の使用は可能。 ・ 大原則として「無駄なおしゃべりはしない」「大声は出さない」「マスクを着用する」は必ず守らせるようにする。 ・ 「新しい学習様式」の意識も持たせる必要がある。 ・ のこぎり・版画などの単元の時、第1・第2を使って、クラスを分けることも可能。 ・ 2つに分ければ、距離は保て、対面は避けられるが、教師の目が届きにくくなるので注意は必要。（廊下を使っている学校もある） ・ 黙ってやれれば、対面でも可能か。 <p>○ミシンのペアでの使用</p> <p>○玉止め、玉結びなどペアでの確認</p> <p>○ミシンボランティアさんの募集</p> <p>○調理実習</p>	<p>→使用後にミシンを消毒する。（アイロン等共用教材も同様。）</p> <p>→一人が使用している時には、相手は距離をとって座って待つ。</p> <p>→座席に座ったまま、距離を置いて見合う。</p> <p>→ボランティアを募れる状況になったら、自分のお子さんの在籍クラスにのみ、ボランティアに入って頂き、クラスをまたがないようにする。</p> <p>5年生はボランティアを募る予定</p> <p>→1学期は実施せず、2学期以降の単元と入れ替えて授業を進める。</p>

		<p>※1 学期中の取り組みは困難となり、単元を入れ替え、座学を中心に行う。調理自習・ミシンの学習などは状況を見て、取り組めるか判断する。</p> <p>※調理実習は当面の間実施は難しい</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科室の使用は可能。 ・大原則として「無駄なおしゃべりはしない」「大声は出さない」「マスクを着用する」は必ず守らせるようにする。 ・「新しい学習様式」の意識も持たせる必要がある。 ・裁縫など、黙ってやれば、対面も可能。 ・ミシンボランティアは、感染状況にもよると考えられる。 5年生は、今のところボランティアを募る予定。 ・調理実習は、今の感染状況から考えて、実施は難しいと考える。 	
<p>体育</p>	<p>○時数</p> <p>○新体力テスト</p> <p>○体づくり運動系</p> <p>○器械運動系</p> <p>○陸上運動系</p>	<p>⇒新体力テスト，水泳，運動会練習の短縮による時数減分をどうするか。</p> <p>⇒陸上運動系に散りばめて実施。</p> <p>×体ほぐしの運動（遊び）</p> <p>△多様な動きをつくる運動（遊び）</p> <p>△体の動きを高める運動</p> <p>×用具を操作する運動（遊び）</p> <p>×力試しの運動（遊び）</p> <p>⇒体が接触する学習は不可。用具を使った学習は、授業終了後の手洗い・うがいを徹底する。</p> <p>△マット運動，鉄棒運動，跳び箱運動</p> <p>⇒用具を使った学習は、終了後の手洗い・うがいを徹底する。</p> <p>△短距離走，リレー</p> <p>⇒短距離走は，6レーンを3レーンにして，密にならないように対応。授業終了後、バトンの消毒、手洗い・うがいの徹底。</p>

	<p>○水泳運動系</p> <p>○ボール運動系</p> <p>○表現運動系</p> <p>○保健</p> <p>○ミニバス大会について</p> <p>○運動会について</p> <p>○市内体育大会について</p>	<p>×中止。6年生のみ背浮きの仕方を視聴する。</p> <p>⇒休み時間のボール使用は可能のため、授業でも使用可能（2学期以降） ただし、原則として1人1つのボールを使用。また、密集する試合形式は不可。（個人練習になってしまう。）</p> <p>⇒運動会での表現系・リズム系を取り除いたことにより、2学期以降実施。 5年生は宿泊学習でのフォークダンスに、6年生は送る会での練習に振替予定。</p> <p>⇒他教科の授業と同じように実施。ただし、5年生の（イ）けがなどの簡単な手当の知識及び技能では実際にけがの手当はできないため知識のみ。</p> <p>⇒中止。ただし、2学期以降取り扱い、クラス内や学年内で交流試合ができたならばベスト。</p> <p>⇒市内で統一はない。 （現在本校で決定していること）</p> <p>①午前中のみの実施 ②演技なしの競技中心で実施 ③提案の通り</p> <p>⇒今のところ実施予定 6年生のみ参加</p>
<p>・現状のやり方が基本。</p> <p>・「業前と業間休みは必ず外に出る」を戻してもよいと考える。 （休み時間の校内での過ごし方、体力の低下が気になる）</p> <p>・マスクは外してもよい。</p>		

<p>総合</p>	<p>①3年：狭山茶博士（茶摘×体験△） ②3年：大豆を使って（講師△） ③4年：共に生きる（幼保との交流△） ④4年：二分の一成人式（保護者△） ⑤5年：国際理解（シルビアさん△） ⑥5年：障害者体験（講師△） ⑦6年：高齢者との触れ合い（交流△） ⑧全：パソコン室利用</p> <p>※施設への訪問、保護者・ゲストティチャー・外部団体を招いての活動は今の状況では当面難しい。2学期へ単元を繰り越すなどして対応する。</p>	<p>→①調べ学習、新聞にまとめる →②調べ学習、5年の家庭科につなげる →③学校紹介を作成して渡す、手紙 →④冊子を作製して家庭で家族に発表 →⑤ジョゼフ先生の話聞く、調べ学習 →⑥学校、町のUDを調べて理由を考察 →⑦ビデオ撮影をして送る、手紙など →⑧クラスを半分に分ける。形式を工夫 使用後に椅子を消毒。退室後の手洗い・うがいの徹底。</p>
<p>・2学期に単元を繰り越したが、今の感染状況を見ると訪問等は難しい。 ・外部との接触を避けた学習活動を進めていったほうがよい。 ・前回の提案の通り、考えられる活動を進めていくしかない。</p>		
<p>外国語 （外国語活動）</p>	<p>・英語活動室での活動 ・歌・チャンツを歌う</p> <p>・単語のリピート ・ペア・グループでのゲーム、握手、ハイタッチ、身体接触を伴うゲーム等</p> <p>・多数が触れる教具の使用</p> <p>・体を動かす活動</p>	<p>→1～6年とも自クラス自席で授業 →歌・チャンツは小聲で自席で行うことが可能。 音楽や一斉音読を考えれば、可能。（マスク着用） →マスクをした上で前を向いて言う。 →身体接触を伴う活動は行わない。1人でワークシートをしたり、動画を見せたりして学習定着を図る。 →授業後に石鹸で手を洗わせる。可能なら授業後に教具を消毒する。 →当面、聞く・書く活動を多くする。 ジェスチャーゲームのような1人で動きがとれるものは可能。 Ex.サイモンセズ</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・現状のやり方で進めていく。 ・マスク着用で、隣同士のペアの話合い、伝え合いは可能と考える。 ・歌・チャンツは小声で自席で行うことが可能。 ・ジェスチャーゲームのような1人で動きがとれるものは可能。 Ex. サイモンセズ 	
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアやグループなど少人数の話合い 	→少人数の話合いの場合は、しばらくの間設定しない。机をコの字隊形にして、クラス全体の話合いは可。
	<ul style="list-style-type: none"> ・マスク着用で、隣同士のペアの話合い、伝え合いは可能とする。 	
特活	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生を迎える会 ・縦割り活動 	→放送にて行う。(6/16) →1学期は中止。
	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会、クラブ → 当初の計画より回数を増やした。 ・縦割り活動 → 2学期から開始 ・集まれ南っ子 → 実施予定(外で実施・雨天延期) ・クラブ見学 → 実施予定 ・6年生を送る会 → 実施予定(その時の状況にもよるが、体育館に全員が集まれるかは、現時点ではわからない) 	
書写	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物をした児童への道具の貸し出し 	→貸し出した道具は教師が消毒して返却する → →
その他の学校生活での活動	<ul style="list-style-type: none"> ・係活動 ・配り係 ・集める ・給食当番・おかわり ・そうじ ・ 	→ → → →

※ また、取り組んでいくうえで、追記・変更があったら教えてください。